



「感触遊び」を楽しもう♪



子どもは、触る、嗅ぐ、聞く、味わう、見る、の五感を使って遊び、たくさんの事を覚えていきます。

生活の中で体験できる感触遊びは、自然の中や「水あそび」「紙あそび」「砂遊び」「ねんど」「食材ちぎり」などたくさんあります。第2の脳といわれている手は、様々な刺激を敏感に感じ取っています。ドロドロ・ベタベタ・サラサラ・冷たい・温かい等の色々な触感を感じながら、つまんだり握ったり丸めたりすることで、脳が働き五感が刺激されます。



最初は、触るのを怖がったりためらったりする子どももいます。「みんなと一緒にしてほしい」という大人の思いもありますが、まずは大人や友だちが楽しんでいる様子を見ることから始めましょう。お母さんや友だちが楽しそうにしているのを何度も見るうちに『楽しそうだな』『触ってみようかな』『でもできるかな?』という気持ちになってきます。その時にお母さんやお父さんが「一緒にしてみようか?」と誘ってみるのもいいですね。

遊びの中で、触わったり見たりして感じたことを、言葉や表情や身体で表現し、発見する楽しさから興味関心を持ち、見たり考えたりしながら遊びが膨らんでいきます。楽しい遊びの積み重ねから「もっとしたい!」「おうちの人や友だちと一緒に遊ぶのが楽しい!」という気持ちにつながっていきます。

五感をたくさん動かせる「感触遊び」は、乳児期・幼児期にいっぱい楽しみたい遊びのひとつです。お父さんとも大胆に遊んでみてください。



遊びの紹介



～自然の素材で感触遊び～

散歩に出ると公園にはいろいろな種類の葉っぱがあるので、「大きな葉っぱだね」「つるつるしてるね」と言葉で伝えながらお母さんたちも一緒に感触を味わってみてください。雨上がりの葉っぱに付いている水滴も触らせてあげたいですね。



～いろいろな廃材で～

*エアークッション（緩衝材）、波形ダンボール、スポンジ等

梱包する時に使う、一般的に「プチプチ」と言われているものがエアークッションです。大人は「プチプチ～」とならしてストレス発散になりますが、子どもたちにも触り心地を感じてもらいたいですね。床にプチプチを敷き詰めて、その上をハイハイしたり、歩いてみて新しい感触を試してみてください。また波形ダンボール、スポンジ等を組み合わせて、感触の違いも楽しめますよ。

～小麦粉で粘土あそび～

作り方・・・ボウルに小麦粉、塩、油を適量入れ、軽く混ぜる。（塩と油は入れなくても大丈夫）硬さをみながら少しずつ水を加え、よくこねて耳たぶくらいのやわらかさになれば出来上り。食紅を混ぜ込むと色の变化も楽しめますよ。こねればこねるほど色が濃くなります！
*ちぎったりくっつけたりした形を、いろいろなものに見立てて遊んでください。
*小麦アレルギーのある人は、米粉やとうもろこし粘土（市販のもの）などに替えて遊んでね。

～寒天をぐちゅー～

作り方・・・市販の粉寒天を説明書に添ってつくる。容器の形や大きさ、水分の量を変えたり、食紅で色を付けると遊びが広がります。まずは、大人が固まった寒天をトレーやボールに移し「ぐちゅぐちゅ～」と言いながら気持ちよさを感じてください。

～トロトロ片栗粉～

作り方、遊び方・・・大き目の洗面器などに粉を入れ、粉の感触を楽しんでから少しずつ水（湯）を入れ遊ぶ。トロトロ感や握り締めた時の感触を楽しむ。（粉と水（湯）の割合は1対1がベスト。また粉に食紅を混ぜて、色の变化や不思議さを楽しみましょう。）小麦粉も同様に楽しめますよ。湯の方がトロトロになりますが、熱いので冷ます時間が必要です。

親子でいろんな感触遊びを楽しんでくださいね！

